$\lfloor 23 \rfloor$	2025 年度 大学院シュ	7バス
Ę	専攻分野/コース (英文名)	放射線治療学 (Radiation Oncology)
	研究指導教員	中村 直樹
研究・教育の概略	の向上を目指し、新規治 るいは放射線物理学的な 放射線治療分野では、 産学連携による新規放射 放射線生物学的あるいは 放射線治療分野の大 臨床腫瘍学、緩和医療学	極物療法と並んで、がん治療の中心を担う。放射線腫瘍学は放射線治療成績療の開発、新規治療装置あるいは新規治療方法の開発、放射線生物学的あき基礎研究を行う学問である。 由度変調放射線治療などの高精度放射線治療を用いた新規治療の開発、線治療装置あるいは新規放射線治療方法の開発、臨床応用の前段階となる法放射線物理学的な基礎研究を行う。 学院では、放射線腫瘍学に加えて、研究実施にあたり重要な知識となりえるを、生物統計学、放射線生物学、放射線物理学を学ぶ。 この必要な時間、研究費および国内外の留学など個々の研究テーマに応じて
研究項目	 新規治療の開発 新規放射線治療装置 放射線生物学的基礎 放射線物理学的基礎 	,,, <u>-</u>
準備学習(予習・復習)	・放射線基礎医学 金売・米国 SWOG に学ぶが・ICRweb https://www・新臨床腫瘍学 南江	inciples and Practice of Radiation Oncology, Wolters Kluwer, Halperin E.C. 芳堂 ぶん臨床試験の実践 医学書院 w.icrweb.jp

講義コー	・ド	*	専攻分野	放射	線治療学				
講義題目	1	放射線腫瘍	学総論			必修/選択	必修		
担当教員		中村 直樹		担当教員連	絡先	内線 3480			
単位数		2単位(前期 1・往	後期 1)	履修年次	次 1年				
テーマと目に	的	放射線腫瘍学の	根幹となる基	礎知識を理解	なする	•			
講義計画	放射線腫瘍学の総論的事項について解説する								
達成目標	放射線腫瘍学の総論的事項を理解し、自身の研究に生かす								
教科書•参	Perez and Brady's Principles and Practice of Radiation Oncology, Wolters Kluwer Halperin E.C.								
準備学習(予習・	復習•時間)	上記参考書を参	考にして講義	と	箇所を予習	・復習する 1時	宇間		
成績評価法		出席と講義内で	の発表、積極	返性、受講態	度による総	合評価			
卒業認定・空		自身の研究を遂	行し論述する	能力を習得す					
			講	& 内容					
前期(回)		内 容	(出席卿)	後期(回)		内容	(出席卿)		
1	放射線服	重瘍学の修練方法		1	強度変調	放射線治療			
2	分割照射	Ħ		2	画像誘導	放射線治療			
3	正常組約	歳の耐容線量		3	呼吸移動	対策			
4	急性期本	有害事象		4	定位照射	†(脳)			
5	晚期有領	事 象		5	体幹部定	位照射			
6	放射線均	曾感剤、放射線防	<u></u> 護剤	6	陽子線治	陽子線治療			
7	放射線剂	台療と化学療法の	 併用	7	炭素線沿	·療			
8	放射線剂	台療と免疫療法の	 併用	8	ホウ素中	性子捕捉療法			
9	治療計画	画の基礎		9	術中照射	†			
10	患者の固	固定		10	全身照射	<u> </u>			
11	X 線を用	別た治療計画		11	再照射				
12	電子線を	を用いた治療計画		12	線量計算	ī			
13	原体照射	H		13	品質管理	!•品質保証			
14	密封小約	泉源療法		14	被曝管理	1			
15	非密封/	小線源治療		15	放射線治	i療に関連する法令	(

講義コー	ド	*	専攻分野	放射網	泉治療学				
講義題目	İ	生物統計学				必修/選択	必修		
担当教員		中村 直樹		担当教員連	絡先	内線 3480			
単位数		2 単位 (通年)		履修年次	履修年次 1年				
テーマと目的	的	生物統計学の基	本的事項を理	解する					
講義計画		がんの標準治療	の理解に必要	な生物統計	知識について	· 解説する			
達成目標		生物統計学的事	項に関する用	語や基本的	な概念を理解	する			
教科書·参	考書	ICRweb https:/	/www.icrweb.	jp					
準備学習(予習・行	復習・時間)	上記サイトを参	考にして講郭	も内容の該当	箇所を予習	・復習する 1時	計間		
成績評価法		出席と講義内で	の発表、積極	極性、受講態	度による総合	合評価			
卒業認定・等		自身の研究を遂	行し論述する	能力を習得す	- る				
			講	& 内容					
前期(回)		内 容	(出席卿)	後期(回))	内 容	(出席卿)		
1	データの)記述(1)		1	ケースコン	/トロール研究(2	:)		
2	データの)記述(2)		2	多重性の	多重性の調整 (1)			
3	仮説検知	定(1)		3	多重性の	調整 (2)			
4	仮説検知	定 (2)		4	サンプル	サンプルサイズ計算 (1)			
5	生存時間	間解析(1)		5	サンプル	サイズ計算(2)			
6	生存時間	間解析(2)		6	傾向スコス	ア (1)			
7	ランダム	化と交絡(1)		7	傾向スコ	7 (2)			
8	ランダム	化と交絡(2)		8	診断法の	評価(1)			
9	多変量角	解析(1)		9	診断法の	評価 (2)			
10	多変量角	解析(2)		10	系統的レ	ビューとメタアナリ	シス(1)		
11	レトロ研究	究(1)		11	系統的レ	ビューとメタアナリ	シス (2)		
12	レトロ研究	究 (2)		12	コクランと	メタアナリシス(1))		
13	コホート	研究(1)		13	コクランと	メタアナリシス(2))		
14	コホート	研究(2)		14	ネットワー	クメタアナリシス((1)		
		ントロール研究(:		15	A 15	ネットワークメタアナリシス (1) ネットワークメタアナリシス (2)			

講義コー	·F	*	専攻分野	F t	放射線剂	台療学			
講義題目	1	放射線生物學	学				必何	修/選択	必修
担当教員		中村 直樹		担当	i教員連絡	先	内線 3480		
単位数		2単位(前期1・後	後期 1)	履修	覆修年次 1年				
テーマと目的	的	放射線治療の背	景となっている	る放射	梯生物学	的理論の理	里解		
講義計画 放射線治療の放射線生物学的					を理解する	る			
達成目標 放射線生物学的原理を理解し					 末・研究に	 役立てる			
教科書•参	考書	放射線基礎医学	金芳堂						
準備学習(予習・	復習・時間)	上記参考書を参	考にして講郭	養内容	ドの該当箇	所を予習	· 復習	引する 1 時	計間
成績評価法		出席と講義内で	の発表、積極	亚性、	受講態度	による総合		<u></u>	
卒業認定・等		自身の研究を遂	 行し論述する	能力を	を習得する)			
			講	& 内	容				
前期(回)		内容	(出席卿)	後	後期(回)		内	容	(出席卿)
1	放射線生	上物作用の一般的	特徴		1	組織の放射線感受性			
2	ヒット論と	:標的論			2	組織の放射線病理学			
3	ラジカル	の生成			3	免疫系と放射線			
4	直接作用	用と間接作用			4	感染防御	機構·	への影響	
5	低 LET	放射線と高 LET	放射線		5	抗体産生	阻止1	— <u>——</u> 作用	
6	酸素効果	<u></u>			6	免疫担当	細胞	の放射線感	 受性
7	シグナル				7	骨髄移植			
8	チェック	ポイントの誘導			8	免疫監視	機構	~の影響	
9	増殖死と	:間期死			9	放射線治	 療の!	京理	
10	アポトー	シスとネクローシス			10	治療可能	比		
11	DNA 損	傷と修復			11	線量分割			
12	2 本鎖切]断と修復			12	腫瘍組織	の放射	計線感受性	
13	ゲノム突	然変異			13	放射線防	護剤		
14	染色体织	2然変異			14	放射線増	感剤		
15	バイスタ	ンダー効果			15	効果予測			

講義コー	F	*	専攻分野	<i>\$</i>	放射線剂	台療学			
講義題目		放射線物理學	学				必修/選択	必修	
担当教員		中村 直樹		担当	当教員連絡	先	内線 3480		
単位数		2単位(前期 1・後	後期 1)	履修	覆修年次 2年				
テーマと目的	·····································	放射線治療の背	景となっている	る放射	 対線物理学	色的理論の理論の理論の理論の理論の理論の理論の理論の理論の理論の理論の理論の理論の理	里解		
講義計画		放射線治療の放	射線物理学的	り原理	里を理解す	る			
達成目標		放射線物理学的	原理を理解し	、臨	床・研究に	役立てる			
教科書·参	等書	放射線基礎医学	金芳堂						
準備学習(予習・行	復習・時間)	上記参考書を参	考にして講郭	遠 内忽	容の該当箇	i所を予習	・復習する 1時	間	
成績評価法		出席と講義内で	の発表、積極	返性、	受講態度	による総合			
卒業認定・等		自身の研究を遂	行し論述する	能力	を習得する	5			
3772103	7,212			夏 内	 对 容				
前期(回)		内 容	(出席卿)	1			 内 容	(出席卿)	
1	原子•元	素・原子核の構造			1	X線CT	 の原 理		
2	X線の乳	· 生機構			2	シンチグラ	ラフィーの原理		
3	自然放射	対線の発生機構			3	MRI の原理			
4	核反応と	:中性子			4	直線加速	器の構造		
5	X 線と物	質の相互作用			5	密封小線	源治療の原理		
6	X 線の散	対乱と吸収			6	陽子線治	療の原理		
7	β線と物	質の相互作用			7	重荷電粒	子による治療の原	理	
8	α線と物	質の相互作用			8	二次電子	平衡		
9	中性子と	:物質の相互作用			9	後方散乱			
10	LET				10	深部線量	分布の測定		
11	線量の種	重類と定義			11	X線の線	量分布		
12	生物学的	9効果比			12	電子線の	線量分布		
13	放射線》	測定器の原理			13	粒子線の	線量分布		
14	線量の測	制定			14	密封小線	源による線量計算	ī	
	77 % 相目				15	非熔料小	線源治療の線量	计 替	

講義コー	ド	*	専攻分野	放射網	沿療学				
講義題目	I	放射線腫瘍	学各論(I)		必修/選択	必修		
担当教員		中村 直樹		担当教員連	絡先	内線 3480			
単位数		2 単位 (前期 1・行	後期 1)	履修年次] 修年次 1年				
テーマと目的	内	各疾患に対する	放射線治療の	適応、照射力	法、有效性、	、有害事象につい	て学ぶ		
講義計画		各疾患に対する	放射線治療の	適応、照射力	方法、有効性、	、有害事象につい	て解説する		
達成目標		放射線治療の適	応を判断し、	臨床で実践で	きるようになる	3			
教科書•参表	芳書	Perez and Brady Halperin E.C.	y's Principles	and Practic	e of Radiatio	on Oncology, Wo	lters Kluwer,		
準備学習(予習・行	復習・時間)	上記参考書を参	考にして講義	&内容の該当	箇所を予習	・復習する 1時	护間		
成績評価法		出席と講義内で	の発表、積極	胚性、受講態	度による総々	合評価			
卒業認定・等		自身の研究を遂	行し論述する	能力を習得す	- _る				
			講	& 内容					
前期(回)		内 容	(出席卿)	後期(回)		内 容	(出席卿)		
1	中枢神経	圣系腫瘍 ①		1	婦人科腫	鴻 ①			
2	中枢神経	圣系腫瘍 ②		2	婦人科腫	鴻 ②			
3	頭頚部肌	重瘍 ①		3	大腸癌				
4	頭頚部肌	重瘍 ②		4	肛門癌	肛門癌			
5	肺•縦隔	腫瘍 ①		5	血液系腫	邁 ①			
6	肺•縦隔	腫瘍 ②		6	血液系腫	血液系腫瘍 ②			
7	食道癌	1		7	骨•軟部	重瘍			
8	食道癌	2		8	皮膚癌				
9	乳癌 ①			9	小児腫瘍				
10	乳癌 ②			10	脳転移				
11	肝臓癌			11	骨転移(D			
12	膵癌			12	骨転移(2			
13	胆道系	重瘍		13	脊髄圧迫]			
14	泌尿器腫	重瘍 ①		14	オリゴメタ	スタシス			
15	泌尿器腫	重瘍 ②		15	良性疾患	Į.			

講義コー	ド	*	専攻分野	放射線	台療学				
講義題目	l	放射線腫瘍	学各論(]	I)		必修/選択	必修		
担当教員		中村 直樹		担当教員連絡	先	内線 3480			
単位数		2単位(前期 1・後	後期 1)	履修年次	夏修年次 2年				
テーマと目的	内	各疾患に対する	放射線治療の	適応、照射方法	去、有 効性、	有害事象につい	て学ぶ		
講義計画		各疾患に対する	放射線治療の	適応、照射方	去、有 効性、	有害事象につい	て解説する		
達成目標		放射線治療の適	応を判断し、	塩床で実践でき	きるようになる	5			
教科書•参表	垮書	Perez and Brady Halperin E.C.	y's Principles	and Practice	of Radiatio	on Oncology, Wo	ters Kluwer,		
準備学習(予習・行	復習·時間)	上記参考書を参	考にして講郭	と内容の該当留	節所を予習	・復習する 1時	間		
成績評価法		出席と講義内で	の発表、積極	極性、受講態 度	をによる総合	合評価			
卒業認定・質の方針との		自身の研究を遂	行し論述する	能力を習得する	5				
			講	大 容					
前期(回)		内容	(出席卿)	後期(回)		内容	(出席卿)		
1	中枢神経	圣系腫瘍 ①		1	婦人科腫	瘍 ①			
2	中枢神経	圣系腫瘍 ②		2	婦人科腫	瘍 ②			
3	頭頚部腫	重瘍 ①		3	大腸癌				
4	頭頚部腫	重瘍 ②		4	肛門癌				
5	肺·縦隔	腫瘍 ①		5	血液系腫	瘍 ①			
6	肺·縦隔	腫瘍 ②		6	血液系腫	瘍 ②			
7	食道癌	1		7	骨•軟部腫	重瘍			
8	食道癌				皮膚癌				
	及坦旭	2		8	皮膚癌				
9	乳癌 ①			9	皮膚癌 小児腫瘍	:			
9									
	乳癌 ①			9	小児腫瘍				
10	乳癌 ①			9	小児腫瘍脳転移	D			
10	乳癌 ① 乳癌 ② 肝臓癌			9 10 11	小児腫瘍 脳転移 骨転移(D D			
10 11 12	乳癌 ① 乳癌 ② 肝臓癌 膵癌	重瘍		9 10 11 12	小児腫瘍 脳転移 骨転移(D D			

講義コー	F	*	専攻分野	放射線	治療学			
講義題目		臨床腫瘍	学 (I)			必	修/選択	必修
担当教員		砂川優		担当教員連絡	各先	内約	泉 3316	
単位数		2単位(前期 1	•後期 1)	履修年次		1年	Ē	
テーマと目的	勺	放射線治療に	関連する実例を	通じて標準治療	療を理解する	3		
講義計画		実際に放射線 標準治療に関	治療に紹介され して議論する	ルた症例を提 示	ミレ、手術療	法、	薬物療法を含	含めて現在の
達成目標		標準治療の成	立過程やその間	周 点を理解す	⁻ る			
教科書•参表	考	新臨床腫瘍学	南江堂					
準備学習(予習・行	復習•時間)	上記参考書を	参考にして講	境内容の関連	箇所を予習	• 復	習する 1時	計間
成績評価法	:	出席と講義内	での発表、積極	極性、受講態 度	度による総合	合評	洒	
卒業認定・等		自身の研究を	遂行し論述する	能力を習得する	3			
			講	隻 内 容				
前期(回)		内 容	(出席卿)	後期(回)		内	容	(出席卿)
1	症例検討	4 D		1	症例検討	16		
2	症例検討	寸 ②		2	症例検討	17		
3	症例検討	1 3		3	症例検討	18		
4	症例検討	4		4	症例検討	19		
5	症例検書	寸 ⑤		5	症例検討	20		
6	症例検討	寸 ⑥		6	症例検討	21)		
7	症例検討	寸 ⑦		7	症例検討	22		
8	症例検討	寸 ⑧		8	症例検討	23		
9	症例検討	4		9	症例検討	24)		
10	症例検討	4 100		10	症例検討	25		
11	症例検討	4 (1)		11	症例検討	26		
12	症例検討	寸 ⑫		12	症例検討	27		
13	症例検討	寸 ①3		13	症例検討	28		
14	症例検討	寸 ⑭		14	症例検討	29		
15	症例検討	寸 ⑪		15	症例検討	30		

講義コー	ド	*		専攻分野	放射線	台療学			
講義題目	l	臨月	末腫瘍学	(II)			必	修/選択	必修
担当教員		伊澤	直樹		担当教員連絡	担当教員連絡先 内線 3316			
単位数		2単位	位(前期 1・後	後期 1)	履修年次 2年				
テーマと目的	テーマと目的 放射線治療に関連する実例を					こ有望な治療	奈法	を理解する	
実際に放射線治療に紹介され 講義計画 めて期待される新規治療に関						し、アンメット	\ <u>_</u> -	ーズと手術、薬	薬物療法を含
達成目標	達成目標アンメットニーズと有望な新規を					•			
教科書·参	芳書	新臨	床腫瘍学	南江堂					
準備学習(予習・行	復習•時間)	上記	参考書を参	考にして講	場内容の関連圏	前がを予習・	復	習する 1時	間
成績評価法		出席	と講義内で	の発表、積極	胚性、受講態 度	Eによる総合	評価		
卒業認定・等		自身	の研究を遂	行し論述する	能力を習得する	3			
				講					
					~ 1				
前期(回)		内	容	(出席卿)		i	力	容	(出席卿)
前期(回)	症例検討		容			症例検討		容	(出席卿)
	症例検記	4 ①	容		後期(回)		16	容	(出席卿)
1		4 (D	容		後期(回)	症例検討	(16) (17)	容	(出席卿)
1 2	症例検討	† ① † ② † ③	容		後期(回) 1 2	症例検討	16 17 18	容	(出席卿)
1 2 3	症例検言	† ① † ② † ③ † ④	容		後期(回) 1 2 3	症例検討 症例検討	(16) (17) (18) (19)	容	(出席卿)
1 2 3 4	症例検言 症例検言	† ① † ② † ③ † ④	容		後期(回) 1 2 3 4	症例検討 症例検討 症例検討 症例検討	(16) (17) (18) (19) (20)	容	(出席卿)
1 2 3 4 5	症例検言 症例検言 症例検言 症例検言	† ① † ② † ③ † ④ † ⑤	容		後期(回) 1 2 3 4 5	症例検討 症例検討 症例検討 症例検討 症例検討	16 17 18 19 20 21	容	(出席卿)
1 2 3 4 5 6	症例検言 症例検言 症例検言 症例検言	+ ① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ + ⑦	容		後期(回) 1 2 3 4 5 6	症例検討 症例検討 症例検討 症例検討 症例検討	(16) (17) (18) (19) (20) (21)	容	(出席卿)
1 2 3 4 5 6 7	症例検言 症例検言 症例検言 症例検言 症例検言 症例検言	† ① † ② † ③ † ④ † ⑤ † ⑥ † ⑦	容		後期(回) 1 2 3 4 5 6 7	症例検討 症例検討 症例検討 症例検討 症例検討 症例検討	(6) (7) (8) (9) (2) (2) (2) (3)	容	(出席卿)
1 2 3 4 5 6 7 8	症例檢言症例檢言症例檢言症例檢言症例檢言症例檢言症例檢言症例檢言	+ ① + ② + ③ + ⑤ + ⑥ + ⑦ + ③	容		後期(回) 1 2 3 4 5 6 7 8	症例検討 症例検討 症例検討 症例検討 症例検討 症例検討 症例検討	16 17 18 19 20 20 22 23 24	容	(出席卿)
1 2 3 4 5 6 7 8	症例檢言症例檢論症例檢論症例檢論	† ① † ② † ③ † ④ † ⑤ † ⑥ † ⑥ † ⑥ † ⑦ † ⑧ † ⑩	容		後期(回) 1 2 3 4 5 6 7 8 9	症例検討 症例検討 症例検討 症例検討 症例検討 症例検討 症例検討 症例検討	(1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	容	(出席卿)
1 2 3 4 5 6 7 8 9	症例例例例例例例例的人	+ ① + ② + ③ + ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑤ + ① + ① + ① + ① + ①	容		後期(回) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	症例検討 症例検討 症例 検討 症例 検討 症例 検 検 が 検 が 検 が 検 が 検 が 検 が が が が が が が	(1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	容	(出席卿)
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症	† ① † ② † ③ † ③ † ⑤ † ⑥ † ⑥ † ⑥ † ① † ① † ① † ②	容		後期(回) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	症例檢討症例檢討症例檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢檢	(1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2	容	(出席卿)
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症	† ① † ② † ③ † ③ † ⑤ † ⑥ † ⑥ † ⑥ † ① † ① † ① † ① † ① † ① † ① † ① † ① † ②	容		後期(回) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	症例檢討。症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症炎症炎炎炎炎炎	(6) (9) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (7) (8)	容	(出席卿)

講義コー	·k	*	専攻分野	F	放射線泡	台療学				
講義題目	I	臨床試験の表	基礎				必修/選択	必修		
担当教員		中村 直樹		担	当教員連絡	先	内線 3480	l		
単位数		2単位(前期 1・後	後期 1)	履	修年次	1年				
テーマと目的	·····································	がん臨床試験の	 方法論を理解	する	<u> </u>					
講義計画		がん臨床試験の	方法論を解説	する	3					
 達成目標		 臨床試験のプロ	マコールを批判	11的	に吟味できる	 るようになる	<u> </u>			
教科書•参	芳	米国 SWOG に学	さぶがん臨床i 	試験	の実践 医	学書院				
準備学習(予習・行	復習•時間)	上記参考書を参	考にして講郭	&内:	容の該当箇	i所を予習	・復習する 1時	持間		
成績評価法		実際の読影の際	に各個人の理	解	度を評価する	る。				
卒業認定・質の方針との	•	自身の研究を遂	行し論述する	能力	を習得する	<u>, </u>				
			講	夏 7	————— 为 容					
前期(回)		内 容	(出席卿)		後期(回)		内 容	(出席卿)		
1	臨床試験	険の目的			1	3 群以上の試験				
2	臨床試験	険の適格性			2	中間解析				
3	治療群				3	プロトコー	・ルの作成			
4	ランダム	割付			4	中央判定				
5	エンドポ	イント			5	症例報告	·書			
6	検出する	べき差と推定の精度	ŧ		6	検体				
7	モニタリン	ング			7	データ収	集 			
8	倫理的和	考察			8	データベ	ース管理 			
9	第I相認	式験			9	監査				
10	単群第1	I相試験			10	結果の公	 表			
11	多群第1	I相試験			11	結果の解	 析			
12	第Ⅲ相認	武験			12	ヒストリカノ	レコントロール			
13	非劣性認	式験			13	競合リスク	7			
14	サンプル	/サイズ、検出力、	有意水準		14	サブセット	·解析			
15	片側検急	 と両側検定			15	メタアナリ	シス			

講義コー	ド	*	専攻分野	放射線	治療学		
講義題目		放射線腫瘍	学実習	•		必修/選択	必修
担当教員		中村 直樹		担当教員連絡	担当教員連絡先 内線 3480		
単位数		1 単位 (前期 0.5	・後期 0.5)	履修年次		2年	
テーマと目的	·····································	放射線治療の治	療計画を習得	事する			
講義計画		実際の患者の C	T を用いて、氵	台療計画を行う)		
達成目標		典型的な治療計	画を実践でき	きる			
教科書•参考	考書	放射線治療計画	ガイドライン 2	020 年版 南江	工 <u>堂</u>		
準備学習(予習・行	复習•時間)	該当部位を抄読	する 1時間	Ī			
成績評価法		出席と講義内で	の発表、積極	極性、受講態 原	度による総介	 今評価	
卒業認定・等	·	放射線治療の実	際を学ぶこと	で研究に必要な	な素養を獲得	导する	
			講	& 内容			
前期(回)		内 容	(出席卿)	後期(回)		内 容	(出席卿)
1	骨転移			1	リアルタイ	ムの患者に対する	治療計画①
2	全脳照射	t		2	リアルタイ	ムの患者に対する	治療計画②
3	全乳房照	射		3	リアルタイ	ムの患者に対する	治療計画③
4	胸壁+領	[域リンパ節照射		4	リアルタイ	ムの患者に対する	治療計画④
5	全骨盤照	·····································		5	リアルタイ	ムの患者に対する	治療計画⑤
6	Ⅲ期肺癌	<u> </u>		6	リアルタイ	ムの患者に対する	治療計画⑥
7	食道癌			7	リアルタイ	ムの患者に対する	治療計画⑦
8	前立腺瘤			8	リアルタイ	ムの患者に対する	冶療計画⑧
9	頭頸部癌			9	リアルタイ	ムの患者に対する	治療計画⑨
10	頭頸部癌	62		10	リアルタイ	ムの患者に対する	治療計画⑩
11	腔内照射	t		11	リアルタイ	ムの患者に対する	治療計画⑪
12	全身照射	t		12	リアルタイ	ムの患者に対する	治療計画⑫
13	全脳全衛	F髄 照射		13	リアルタイ	ムの患者に対する	治療計画⑬
14	脳転移に	対する定位照射		14	リアルタイ	ムの患者に対する	冶療計画(4)
15	I期肺癌	属に対する定位照射	<u></u>	15	リアルタイ	ムの患者に対する	治療計画⑮

講義コー	ド	*		専攻分野	F	放射線剂	台療学			
講義題目	l	緩和	印医療学					必	修/選択	必修
担当教員		橋口	さおり		担	担当教員連絡先 内線 3670				
単位数		2単位	位(前期 1・征	後期 1)	履	修年次		2 年	F.	
テーマと目的	テーマと目的緩和医療の基本的な考え方					和的放射線	治療の役割	割を	理解する	
講義計画	講義計画緩和医療の基本的事項を緩緩					放射線治療	そとの関連に	こ主	眼をおきつつ	解説する
達成目標	達成目標 各症状の評価法と治療法を					し、臨床で	実践できる	るよ	うになる	
教科書•参表	岑書	専門	家をめざす	人のための緩	和图	医療学 南江	工堂			
準備学習(予習・行	復習•時間)	上記	参考書を参	考にして講家	&内	容の該当箇	i所を予習	· 復	習する 1時	間
成績評価法		出席	と講義内で	の発表、積極	亟性	、受講態度	による総合	今評	価	
卒業認定・等		自身	の研究を遂	行し論述する	能力	力を習得する	5			
				講	髮	为 容				
前期(回)		内	容	(出席卿))	後期(回)		内	容	(出席卿)
1	症例検討	4 ①				1	症例検討	· 1 6		
2	症例検討	1 ②				2	症例検討	17		
3	症例検討	43				3	症例検討	18		
4	症例検討	寸 ④				4	症例検討	19		
5	症例検討	寸 ⑤				5	症例検討	20		
6	症例検討	寸 ⑥				6	症例検討	21)		
7	症例検討	寸 ⑦				7	症例検討	22		
8	症例検討	4 8				8	症例検討	23		
9	症例検討	4 @				9	症例検討	24		
10	症例検討	4 10				10	症例検討	25		
11	症例検討	4 ①				11	症例検討	26		
12	症例検討	寸 12				12	症例検討	27		
13	症例検討	1 13				13	症例検討	28		
14	症例検討	寸 ⑭				14	症例検討	29		
15	症例検討	寸 15				15	症例検討	30		

講義コード	*	専攻分野	放射線剂	放射線治療学						
講義題目高精度放射線治療					必修/選択	選択				
担当教員	中村 直樹 月			坦当教員連絡先 内線 3480						
単位数	2単位(前期 1・征	履修年次	1年・2年							
テーマと目的	高精度放射線治療の概略									
講義計画	講義により意義、原理、適応疾患について知る。実際の症例で治療計画の実際を 経験する									
達成目標	高精度放射線治療の適応疾患を理解する									
	高精度放射線治療の原理と実際を理解する									
教科書・参考書 体幹部定位放射線治療-ガイドラインの詳細と照射マニュ				:照射マニュ	-アル- 中外医	学社				
準備学習(予習・復習・時間)	・復習・時間) 上記参考書を読破し、学習、実習にそなえる 1 時間									
成績評価法	i法 出席と講義内での発表、積極性、受講態度による総合評価									
卒業認定・学位授与 の方針との関連性 放射線医学の知識に基づいて、自身の研究を遂行し論述する能力を習得する						する				
講義内容										
前期(回)	内 容	(出席卿)	後期(回)		内 容	(出席卿)				
1 高精度放射線治療 総論 講義			1	症例を用いた治療計画実習						
2 高精度	高精度放射線治療 総論 講義			症例を用いた治療計画実習						
3 高精度	3 高精度放射線治療 総論 講義			症例を用いた治療計画実習						
4 高精度	高精度放射線治療 総論 講義			症例を用	症例を用いた治療計画実習					
5 高精度	高精度放射線治療 総論 講義			症例を用	症例を用いた治療計画実習					
6 高精度	高精度放射線治療 総論 講義			症例を用	症例を用いた治療計画実習					
7 高精度	高精度放射線治療 総論 講義			症例を用	列を用いた治療計画実習					
8 高精度	高精度放射線治療 総論 講義			症例を用	症例を用いた治療計画実習					
9 高精度	高精度放射線治療 総論 講義			症例を用いた治療計画実習						
10 高精度	高精度放射線治療 総論 講義			症例を用いた治療計画実習						
10 同相及	双射梯冶煤 総論	讲我	10	延列を用	♥ 75.10源前岡天日	=				
	放射線治療 総論		11		いた治療計画実習	•				
11 高精度		講義		症例を用		지 리				
11 高精度 12 高精度	放射線治療総論	講義	11	症例を用	いた治療計画実習	2 1 1 2 1				
11 高精度 12 高精度 13 高精度	放射線治療 総論 放射線治療 総論	講義講義	11 12	症例を用 症例を用 症例を用	いた治療計画実習いた治療計画実習	7 7 1				

講義コード		*	専攻分野	放射線	治療学				
講義題目臨床試験プロトコールの				の作成)作成 必修/選択 選択				
担当教員 中村 直樹 技			担当教員連絡	各先	内線 3480				
単位数		2 単位(前期 1・後期 1)				1年•2年			
テーマと目的	内	臨床試験プロトニ	ールコンセブ	トの構成を理角	 D構成を理解する				
講義計画	計画 臨床試験プロトコールコンセプトの構成を解説する								
達成目標 臨床試験プロトコールコンセプトが作成できる									
教科書・参考書 米国 SWOG に学ぶがん臨床試験の実践 医学書院									
準備学習(予習・	復習•時間)								
成績評価法		出席と講義内での発表、積極性、受講態度による総合評価							
卒業認定・等		自身の研究の遂行能力を高める							
			講	卷 内 容					
前期(回)		内 容	(出席卿)	後期(回)		内容	(出席卿)		
1	プロトコールコンセプトの構成			1	臨床試験	臨床試験コンセプトの批判的吟味			
2	臨床試験の枠組み			2	臨床試験コンセプトの批判的吟味				
3	Clinical Question			3	臨床試験コンセプトの批判的吟味				
4	Social Value			4	臨床試験	臨床試験コンセプトの批判的吟味			
5	適格規準、除外規準			5	臨床試験	臨床試験コンセプトの批判的吟味			
6	標準治療			6	臨床試験	臨床試験コンセプトの批判的吟味			
7	試験治療			7	臨床試験	臨床試験コンセプトの批判的吟味			
8	エンドポイント			8	臨床試験コンセプトの批判的吟味				
9	PRO/QOL			9	臨床試験コンセプトの批判的吟味				
10	盲検化			10	臨床試験コンセプトの批判的吟味				
11	症例数設計			11	臨床試験	臨床試験コンセプトの批判的吟味			
12	優越性試験			12	臨床試験コンセプトの批判的吟味				
13	非劣性試験			13	臨床試験	臨床試験コンセプトの批判的吟味			
14	探索的試験			14	臨床試験コンセプトの批判的吟味				
15	検証的試験			15	臨床試験	臨床試験コンセプトの批判的吟味			